

(3)豊かな地域資源の活用促進

プロジェクト 食の力を生かした健康的な暮らしの実現

目 標

- ・平均寿命の延伸 (現状) R2: 男性79.27才、女性86.33才
- ・健康寿命の延伸 (現状) R1: 男性71.73才、女性76.05才

挑戦する内容

- ・あらゆる世代に対応した食育活動の実践
- ・食育活動を担う指導者の育成と資質向上
- ・野菜と果物の摂取啓発
- ・Web活用による食生活改善や野菜・果物の持つ機能性等の情報拡散
- ・共食の場と未利用農産物提供者とのネットワークの強化
- ・学校給食を通じた県産食材PR・啓発

関係者の声
=対話

- ・世代に対応した食育に継続的に取り組んでいく必要がある(教育、医療関係者)
- ・郷土料理の伝承機会を増やしたい(学識、消費、医療関係者)
- ・野菜、果物の摂取量や肥満の割合など改善すべき点が多い(教育、医療関係者)

役割分担

- | | |
|-----------------|--------------------------------------|
| ・県食育推進会議 | : 県計画の進捗状況評価や施策への提言 |
| ・教育・食育関係者等 | : 食育指導体制整備、学校給食の地元食材利用拡大等 |
| ・医療、保健、栄養・福祉関係者 | : 食に関する指導、保健指導等 |
| ・農林漁業者 | : 安全・安心な農林水産物の生産、農林漁業体験機会の提供、地産地消推進等 |
| ・県民 | : 健全な食生活実現への努力、地産地消推進による農林水産業振興への協力 |
| ・行政(県、市町村) | : 関係機関等と連携した気運醸成、地域の実情に応じた食育推進 |

変革後の姿

- ・健康的な食生活を実践しようとする県民が増え、平均寿命、健康寿命が延伸
- ・野菜・果物の機能性を理解し、積極的に食生活に取り入れる県民が増え、消費量がアップ

令和6年度計画

挑戦する内容

- あらゆる世代に対応した食育活動の実践
 - ・園児から高校生までを対象とした食育講座
 - ・子育て世代を対象としたオンライン食育講座
 - ・共食の場における高齢者等を対象とした食育出前講座
 - ・働き盛り世代対象の企業社員の食生活改善セミナー
- 食育活動を担う指導者の育成と資質向上
 - ・食育サポータースキルアップ講座
 - ・食育指導者向け「野菜+果物」研修会
- 野菜と果物の摂取啓発
 - ・量販店等PR資材、スポットCM、レシピサイトでの情報提供等
- Web活用による食育活動実践のための情報拡散
 - ・YouTube等活用による食生活改善セミナーや野菜・果物の機能性等
- 共食の場と未利用農産物提供者とのネットワークの強化
 - ・マッチング促進のための情報交換会開催等
- 学校給食を通じた県産食材PR・啓発
 - ・県産食材に関わる本県農林水産業や食文化のPR資材の作成



あおもり食命人による食育活動



コンビニ野菜レシピ集

対話

- ・部会、青森県食育推進会議を開催し、青森県食育推進計画の進捗状況や施策に対する評価・提言を参考に事業構築(8月、1月)
- ・県民局単位で地域食育ネットワーク協議会を開催し、関係者からの意見を取組内容に反映(各地域1回)
- ・「共食の場」ネットワーク会議を開催し、関係者からの意見を取組内容に反映(地区会議2回、全体会議1回)